

蓄 - つぼみ -



2022.5.30

◆42期生（卒業生）の活躍◆

今年の3月に卒業した42期生の進路状況は、以下の通りです。

大学：158名、短大：11名、専門学校：100名、就職・公務員：24名、その他（留学等）：9名

昨年度の3年生の進路を振り返ってみると、難関大学や、消防・警察などの公務員試験にも合格者が複数でるなど、高いレベルにチャレンジし、合格を掴みとった先輩が多くいました。これらの先輩に共通することは、①基礎基本が身についていたこと、②とりかかりが早かったこと、③絶対に合格するという熱意が強かったこと、です。①は、生活面でも同じことが言えます。挨拶や時間厳守など、普段からしっかりとできているかどうかは、面接などで重要視されます。市柏生の多くは部活動を通して礼儀を学び、精神力を鍛えています。その『真価』がこの先の進路で発揮されるときが必ずきます。

43期生の3年生は進路を具体的に考える時期がやってきました。だからと言って焦りは禁物、今は焦らずに基礎固めをする時期です。そして、じっくりと進路について悩み、先生方や保護者の方と話をして下さい。進路指導部としても、君たちの夢の実現に向け、全力でサポートしていきます。

◆授業を大切に◆

1年生は高校に入学したばかりですが、高校の授業は中学までとはまるで違う、と思ったことはありませんか？これを書いている私は数学の教員なので、数学の話をしますが、高校で学ぶ数学と大学で学ぶ数学はまるで違います。数学の問題を解くには、ある程度公式を暗記して、それに当てはめれば解けるとか、例題の解き方を覚えていれば解けるとか、そう思っている人が多いのではないのでしょうか。でも、実際の試験で見たことのない問題に出会ったら？今まで自分が覚えていた解き方が当てはまらなかったら？どうしますか？

人生は新たな壁にぶつかることの連続です。今までの経験が通用しないことも多いです。それでも、今自分が持っている能力を最大限使って考え続けるしかないのです。

君たちは、日々の授業を受け身の姿勢で受けていませんか？先生が黒板に書いたことをそのまま書き写すだけになっていたりしませんか？受け身で授業を受けるのではなく、学んだ内容をしっかりと自分のものにできるまで、積極的に受けてください。そうすると、ちょっとしたことでも「なぜ？」と疑問に思うところがでてきます。その「なぜ？」と思ったところをそのままにしないでください。友達に聞いたり、先生に聞いたりしながら納得できるまで考え続けてください。その考え続け、たどり着いた答えは、その過程も含めて大きな財産になります。

授業では、納得できないところについて「あー、そうか、分かった！！」という快感を得るためにアンテナを張り、思考の緊張を保てるようにしておいて下さい。

最後に言いますが、簡単に出了た答えは忘れるのも早いものです。十分に回り道をして下さい。遠回りかもしれないけれど、簡単に見つけた答えの思考の深さは浅いものです。1学期中間試験の結果はどうでしたか？授業の内容がしっかりと理解できていたでしょうか？

さて、ここで問題です。

4分をはかれる砂時計と、7分をはかれる砂時計があります。

2つの砂時計を使って9分をはかろうとしています。どのようにすれば9分をはかることができるでしょうか。

